

昭和大学
SHOWA University

—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き医療人の育成

発行責任者 病院長 馬場 一美
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

口腔機能障害への至誠一貫の取り組みはまだまだ続く

口腔リハビリテーション科 診療科長 高橋 浩二

1977年4月に歯学部第一回生として入学以来、光陰矢の如しで定年退職を迎えることとなりました。創設期の本学には東京医科歯科大学歯学部、東京歯科大学ご出身の著名な教授と新進気鋭の教授さらにフロンティアスピリットに溢れた先生方が赴任され、熱心な教育と多くの薫陶を賜りました。教授陣と学生との意見交換は今よりずっと活発で、私は学生代表として教授陣と“交渉する”教育委員を2年から6年まで務めました。部活は、東京都高体連大会で大将として挑み2年連続団体優勝した柔道に取り組み、元インターハイ選手が数多くいた全歯体で6学年まで個人戦決勝に進み、上條旗が岡賞を受賞しました。大学院進学後、第一口腔外科学教室主任教授の道 健一先生（現本学名誉教授）のご指導の下、口腔外科のイロハを学ぶとともに、発音障害に関する研究で、本学第一号の歯学博士を授与していただきました。

1990年から米国の嚥下障害治療の第一人者であるGroher博士に師事し、直弟子とし

て2年間学び、1994年から2年間は癌研究会附属病院で頭頸部癌手術の研鑽を積みました。2004年6月新設の口腔リハビリテーション科の科長として摂食嚥下障害、発音障害、口腔異常習癖、呼吸障害（閉塞性睡眠時無呼吸）の治療に邁進し、現在に至っています。



当科のオリジナル技術を含めた口腔機能障害の先進的な治療を求め、全国から患者さんがいらして下さり、紹介元も癌専門病院、大学病院など全国的に知名度の高い病院から言葉の教室まで多岐に渡り、この場をお借りしてお力添えをいただいた学内外の先生方、本学職員の皆様、そして素晴らしい結果をもたらして下さった患者の皆様にご心より感謝申し上げます。

私は退職しますが、後輩たちによって当科の口腔機能障害への至誠一貫の取り組みはまだまだ続きます。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



- P1 巻頭言 退任のご挨拶
- P2 退任のご挨拶
- P3 定年退職者のご挨拶
- P4 患者さん満足度調査アンケート
患者さんからのご意見・ご要望、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

■ 患者さん向け、 ■ 医療機関向け、 ■ お知らせなど



1986年に昭和大学を卒業して、新宿区の東京女子医科大学病院歯科口腔外科に23年間勤務しました。

2009年から昭和大学歯科病院地域連携歯科に移り、12年間があっという間でした。新宿では病棟からの高層ビル群の夜景に癒されましたが、洗足では晴れた日の朝、北千束五差路から雄大な富士山を眺めるのが楽しみです。

女子医大では医科の入院・通院中の心臓病、糖尿病、がん治療中、抗血栓薬服用中など重篤な全身疾患（有病者）患者さんの、一般歯科処置から口腔外科手術、さらに救急救命センターで他科医師と連携して口腔顔面外傷、口腔感染症など救急症例の治療を行ってきました。

地域連携歯科は佐野晴男教授、私、マイヤース三恵先生など5名の医局員でスタートしました。昭和大学歯科病院では専門分野に細分化されているため、紹介元の医療機関や患者さんは、自分がどの専門科に受診するのか、分からないことが多いのが現状でした。

紹介で診療科の指定のない患者さんは、まず当科で診察して専門各科に振り分けています。さらに一般開業医では対応できない有病者の虫歯治療から抜歯（小手術）に至る包括治療を行っています。特に歯科恐怖症（歯科治療が苦手、嘔気反射）、薬物アレルギーなどの紹介患者さんに対しては歯科麻酔科と連携して治療にあたり、必要に応じて静脈内鎮

静、静脈麻酔、全身麻酔下での治療を行っています。お互いに顔の見える連携を心がけ、予約外を含めて電話1本で急患対応することで医療連携も良好となりました。

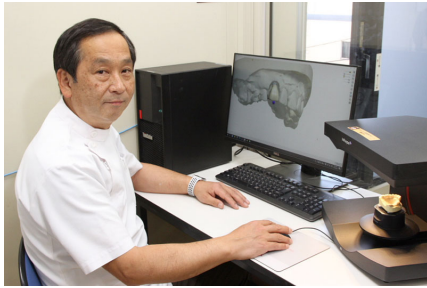
近隣の城南7歯科医師会、川崎市、横浜市の歯科医師会ならびに医科医療機関を含めて毎月150人前後の紹介数です。歯科病院全体の紹介率も40%以上に増加しております。さらに昭和大学病院歯科、藤が丘病院歯科、烏山病院歯科に医局員を派遣しており、昭和大学病院各科と連携することで、安心・安全な医療を提供しています。しかし歯科病院に紹介状なく受診する患者さん（未紹介）への対応は確立されていませんでした。

今後は未紹介の患者さんに対しても、初診窓口として役割を担って、院内各科と昭和大学病院各科との連携したチーム医療を促進するため、4月から地域連携歯科は医科歯科連携診療歯科と名称を変更いたします。マイヤース三恵准教授、松井庄平助教を中心に今までと変わることなく、皆様からのご紹介をお受けいたします。今まで以上のご支援をお願い申し上げます。



2009年当時の医局員集合写真

定年退職者のご挨拶



私は1985年に歯科病院歯科技工室に入職し今年度末に定年退職を迎える事になりました。

技工人生を振り返りますと、入職当初ほとんどアナログ作業で手間と労力を要するものばかりでございました。

2010年を過ぎた頃から先進性を軸とし最先端の技術を取り入れ、技工分野でも先進性にふさわしく様々なデジタル機器の導入に伴いアナログからデジタルまで数多くの技工を経験する事ができたことを大変感謝しております。

日頃の作業ではCAD/CAMシステムにて顎模型をスキャニングしデザインソフトで歯冠をデザインし加工機で削り出し、インプラントやジルコニア冠などの製作が主な仕事でした。CAD/CAMシステム導入当初は今までに経験の無い作業の連続で一つのソフトをマスターしても、また新たなシステムが導入され、やりがいと戸惑いのなか、なんとか現在に至る事ができました。

今後は昭和大学で学んだ様々な経験を残りの人生に活かしていくつもりであります。

退職を迎えるにあたり各科先生方、コデンタルの皆様、事務課の皆様、また大勢スタッフの皆様にご挨拶いたします、ありがとうございました。

歯科技工室 後藤 大介



3月31日に定年退職を迎えることになりました。1981年4月昭和大学病院に入職しました。

私達の仕事は、入院患者さんの食事を提供することです。食事の内容も一般食、小児食、糖尿病食、高血圧食、アレルギー・・・など多種に分かれていましたので、戸惑うことばかりで不安でしたが諸先輩方のご指導のお蔭で長きに渡り勤務を続けることが出来ました。心より感謝しております。

その後、東病院、烏山病院に異動となり2019年、歯科病院に異動して参りました。歯科病院では、口の中を治療している患者さ

んがほとんどですので咀嚼を必要としないようなキザミ食、ソフト食、流動食のような食事を提供することが多いです。

患者さんの退院時に、「食事、美味しかったです」というような言葉をいただく事があります。私には、何より嬉しい言葉でした。歯科病院では多くの事を学ばさせていただきました。ありがとうございました。

皆様のご健勝と歯科病院の益々のご発展をお祈り申し上げます。

栄養科 調理師 中田 寅次



患者さん満足度調査アンケート 速報について

患者サービス向上委員会

2022年1月29日(土)から2月4日(金)の期間で患者さん満足度調査アンケートを行い、1,485枚のご回答をいただきました。

アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。皆様からいただいたご意見は、今後のサービス向上に生かして参ります。アンケート結果は只今集計中となりますので、詳細は改めてご報告いたします。

日程	患者数	回収枚数	回収率
1月29日(土)	514人	230枚	44.7%
1月31日(月)	702人	260枚	37.0%
2月1日(火)	724人	244枚	33.7%
2月2日(水)	757人	270枚	35.7%
2月3日(木)	688人	252枚	36.6%
2月4日(金)	721人	229枚	31.8%
合計	4,106人	1,485枚	36.2%
2020年度	4,114人	1,573枚	38.2%

患者さんからのご意見・ご要望

患者サービス向上委員会

ご意見・ご要望	回答・改善等
髪を乾かすのにも結構時間がかかるため、入浴の時間が30分は少し短いのではないのでしょうか。また、携帯を持っていない時もあるので、入浴室に時計があったら嬉しいです。	貴重なご意見ありがとうございます。入浴室に時計を設置いたしました。 入浴時間の提供につきましては、限られた時間に皆さまに平等にご利用していただくため30分とさせていただいております。 ドライヤーのご利用は談話室や自室でもご利用は可能ですので、説明を追加してご案内して参ります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。 (病棟)

編集後記

早いもので、今年度も残りわずかとなりました。新型コロナウイルスの影響で活動自粛など社会の変化もめまぐるしく、1年が早く感じられた方も多かったのではないのでしょうか。何かと慌ただしい時期ではありますが、睡眠や栄養などを十分にとり、健やかに過ごしてください。春の暖かい季節を迎えコロナ禍が1日も早く収束することを願うばかりです。
(M.T)

